



ジャンパ位置 プロット図  
( TEAC FD-4xxx 番台 ) S=N/S

1. ジャンパ ( ショートピン ) の機能概要一覧表 ( TEAC FD-4xxx 番台 )

ジャンパ	機能概要 ( 「端子 nn」の端子は 34 ピンのピンヘッダ端子を、nn はピン番号を表す )
DS0	端子 10 : DRIVE SELECT 0 入力
DS1	端子 12 : DRIVE SELECT 1 入力
H02	端子 2 : HIGH DENSITY 出力
HA	1MB モード自動設定
HI2	端子 2 : DENSITY 入力
LHI	DENSITY 入力を反転して扱う ( 通常 HIGH = 2.0MB だが、LOW = 2.0MB として扱う ) 設定方法は以下の通り。 HI2 = ON , LHI = OFF の場合 : FD 識別後、DENSITY ( MODE SELECT ) 信号を用いて動作。 信号レベル HIGH = 2.0MB HI2 = ON , LHI = ON の場合 : FD 識別後、DENSITY ( MODE SELECT ) 信号を用いて動作。 信号レベル LOW = 2.0MB
FG	フレームと DC 0V 間ショート

本プロット図に記載しているジャンパ端子は、奥側に FD 挿入口を向けた状態で基板表側 ( 34 ピン端子実装面 ) を上から見た、見下げ図として記載している。  
FDD を反転させて基板裏側を見る場合、ジャンパ端子の配列も反転するので適宜読み替えを行うこと。